

2. SPC・資産流動化部門



さくら総合事務所グループ



2-1. SPC・資産流動化部門

資産流動化分野における先進的な取り組みが評価され、実務家として主導的なポジションにおいて業界を牽引。流動化関連の法改正にはいち早く対応し、最新の情報をお届けします。

SPC新規組成 管理業務受託

グローバル投資支援
世界第9位Croweメンバーファーム

国土交通省不動産クラウドファンディング等検討会委員

不特法小規模不特共同事業／実務講習 講師

ARES監事・フェロー/A R E Sマスター テキスト(会計編と税務編)

さくら総合事務所グループ



2-2. SPC・資産流動化部門(ストラクチャリング)

SPC等のヴィークルの組成とは単にSPC等ヴィークルを設立することのみならず、資産流動化・証券化を行う企業のニーズに応えるべく、ヴィークルの最適なスキームの提案・助言、キャッシュロー・消費税・減価償却のシミュレーション、連結・オフバランスに関するアドバイス、各種契約書のレビュー等、法律・会計・税務・評価の面から様々なアドバイスを行います。また、海外投資家案件・難解なスキームによる案件についても積極的に取り組み、クライアントのニーズにお応えいたします。

当社に頼むメリット(例)

- ①海外投資家のPE課税回避スキーム
- ②受託から設立までの短時間対応
- ③登記場所（本店住所）の提供
- ④bookと送金の連続的・安定的サービス

- ◆ SPC等のヴィークルの設立に関するコンサルティング
- ◆ SPC等のヴィークルの会計税務コンサルティング
- ◆ SPC等のヴィークルのキャッシュフロー・シミュレーション
- ◆ SPC等によるインバウンド投資支援
- ◆ 会計税務意見書作成

さくら総合事務所グループ



2-3. SPC・資産流動化部門(アドミニストレーション)

さくら総合事務所では資産流動化・証券化業務に関するSPC等のヴィークルアドミニストレーション（管理）受託業務でも業界内の先駆者として数多くの実績を誇っております。SPC等のヴィークルについては資産流動化・証券化のための器（ヴィークル）にすぎないため、その管理・運営が必要となります。内部統制を構築し、会計・税務はもとより、資金管理、役員派遣等を的確かつ組織的に行っており、関連会社の(有)東京エスピーシーサービシーズを通じて専門的に以下のような業務を提供しております。

- ◆ SPC等のヴィークルの会計報告
- ◆ SPC等のヴィークルの税務申告補助
- ◆ 各種関係省庁への報告書・届出作成
- ◆ SPC等のヴィークルの銀行口座の開設・維持管理
- ◆ 各種支払に関する期日管理
- ◆ 諸経費の支払管理
- ◆ 社債・ローン利払日、元本償還の管理
- ◆ 分配金・配当金の管理
- ◆ SPC等のヴィークルの住所地提供
- ◆ SPC等のヴィークルの印章管理
- ◆ SPC等のヴィークルへの役員(取締役・監査役・理事・監事)の派遣

さくら総合事務所グループ



2-4.SPC・資産流動化部門(出口戦略・解散清算)

スキームを終了させる際には、保有資産を売却したうえで、SPC等のヴィークルを解散し清算させる必要がありますが、さくら総合事務所（東京エスピーシーサービシーズ）では、それらに必要な以下のような業務を提供しております。

- ◆ SPC等の対象資産の売却に関するコンサルティング
- ◆ SPC等のヴィークルの解散・清算事業年度に係る税務申告補助
- ◆ 各種関係省庁への報告書・届出作成
- ◆ 解散清算登記の手配
- ◆ SPC等のヴィークルへの役員(清算人)の派遣

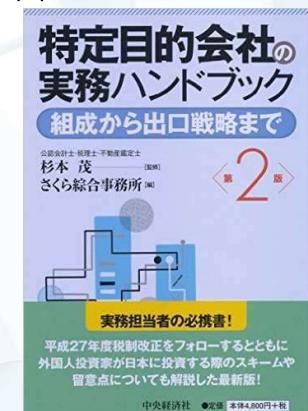
さくら総合事務所グループ



2-6. SPC・資産流動化部門(出版・研究)

SPC関連の最新の動向、法改正・税制改正や実務上の知見をとりまとめて、単行本や各種雑誌の原稿に寄稿しております。また、一般社団法人不動産証券化協会（ARES）におけるマスター養成講座の会計編及び税務編のテキストの執筆、研修講師等の活動も行っております。

- ◆ SPC&匿名組合の法律・会計税務と評価〈第7版〉—～投資スキームの実際例と実務上の問題点（清文社、2020年1月）
- ◆特定目的会社の実務ハンドブック〈第2版〉—組成から出口戦略まで（中央経済社、2015年9月）
- ◆ARESマスター養成講座テキスト「不動産証券化商品の組成と管理」（一般社団法人不動産証券化協会）
- ◆ARES講師(会計・税務)
- ◆不動産特定共同事業法 実務講習講師
- ◆国土交通省不動産クラウドファンディング等 検討会委員



さくら総合事務所グループ

